

# 平成24年度 学校評価（中間）アンケートについて

## 学校評価から見えてきたこと

10月に学校の取り組みに関するアンケートを児童・保護者対象に実施いたしました。ご協力ありがとうございました。皆様のアンケート結果と地域の方々の学校関係者評価、全教職員の自己評価をもとに分析を行いました。

4月にお知らせしました4つの目標について分析した結果をお知らせします。

### 【 望ましい集団づくり】

（話し合いに慣れていないため継続して話し合いの指導が必要である。）

本年度も、各教科学習の基盤であるといえる、望ましい人間関係づくりを目指して学級活動（話し合い活動）を行っています。アンケートの項目でも「話し合いで学級の問題が解決できていますか」には、8割ができていると答えています。しかし課題としては、話し合いの仕方が分からなかったり、話し合いに慣れていない実態があります。また、「相手の立場にたって考えたり、自分の気持ちを分かりやすく伝えたりしていますか」については、相変わらず、2割の児童が、相手の事を考えず、傷つけるような言動があります。今後も学校と家庭が連携して「相手の立場に立って考えたり、自分の思いを言葉で伝える」指導が必要です。

### 【 学力の向上】

（協同学習のよさを理解し楽しく授業ができています。しかし人の話を最後まで聞くことや自らの思いや考えを分かりやすく伝えることに課題がみられます。）

学力の向上に関する項目「先生の話は、分かりやすく、勉強の内容がよく分かっていますか」では、9割の児童がわかっている、聞いていると答えていました。しかしながら児童の約1割が、「そうとはいえない」と答えており今後も、約1割の児童への個別の指導やねらいを明確にした授業改善を行っていく必要があると考えます。また、「自主勉強を行っていますか？」では、これも約1割が「そうとはいえない」と答えており、今後も家庭と連携して家庭学習の習慣化が必要だと考えます。今後も、少人数での学習や協同学習の時間を計画的に行っていきます。

### 【 規範意識の向上】

（廊下の安全な歩行は、向上しています。また、走ることが原因のけがの件数も激減しました。）

「廊下の安全な歩行」については、子ども同士の声かけが増える様子が見られました。また、廊下等を走ることによるけがの件数も昨年度比約3割以上減少しました。「廊下を安全に歩行」という安全に対する意識が高まってきています。また「規則正しい生活をしていますか？」では、8割の児童が「そういえる」と答えていて徐々に規範意識も向上しているといえます。今後も家庭と連携し規範意識の向上に向けた取り組みを継続していく必要があります。

### 【 体力の向上】

（給食の残食率は、昨年度比0.5%向上しましたが、体力の向上はあまり見られません。）

体力づくりでは、本年度の体力テスト全学年で、市の平均を上回った種目（8種目）中1種目（握力）のみでした。特に高学年は、8種目中市平均を上回るものは、1～2種目という低い結果となりました。今後の取り組みとしては、体育の授業を充実させてき一人あたりの運動量を十分に確保し運動欲求を満たしていく必要があります。また、外遊びの励行も継続して行い、ロング昼休憩時に運動する機会を増やす取り組みが必要と考えます。給食の残食率については、毎月の「パクパク週間」や「食育だより」等による啓発活動と各学級での給食指導により昨年度比0.5%向上しています。今後も、食に関する感謝の気持ちを持つなど食育指導を通して残食率を減らしていく取り組みを行っていきます。

